

ソロモン諸島で咲かせたソフトボールの「花」、普及の最前線

文・写真 井上 栄 (青年海外協力協会)

第10回

小中高等学校への巡回



いのうえ・さかえ / 1980年12月11日生まれ。愛知県出身。小学校からソフトボールを始め、大学までプレー。卒業後は愛知県立中学校に体育教諭として勤務。2007年に退職し、青年海外協力隊に参加してジンバブエ共和国(07年6月~08年3月)、ソロモン諸島(08年8月~09年12月及び10年4月~11年3月)に赴任。帰国後は、星槎名古屋中での勤務を経て、公社・青年海外協力協会に所属して駒ヶ根青年海外協力隊訓練所に勤務。

ソロモンの団体である「ソロモンゲーム」を終え、学校も休みが終わったのでついに小中高等学校での巡回指導も本格的にスタートです。ソロモンの学校は、年が変わるとともに学年も変わります。1月から10週間を1学期とし、10週間、1週間を1学期とし、10週間、1週間を2度繰り返す4学期制。私が、学校の巡回を本格始動したのはソロモンの学期で言えば3学期が始まる時です。また、ソロモンでは小学6年生、中学3年生、そして高校2年生以降は、毎年国家統一試験を受験し、これをパスしないと進学できません。また、その点数によって、入学できる学校も決まります。この統一試験は受験学年によって違いますが、8月から11月の間に行われます。そのため各学校は3学期以降、試験対策のために忙しくなります。

新しいことを始めるには、あまり良い時期とは言えませんが、自分と与えられた活動期間を考えると躊躇している暇はありません。巡回先が決まったあとは、まずはレターを持って各学校の校長に会いに行きます。来るもの拒まずのソロモン。即「OK」をいただけました。しかし、この「OK」は協力の約束や何かを準備してくれたりすることを意味するわけではありません。学校内での活動を許可してくれる程度です。そこで校長の許可が下りたら、協力してくれそうな教員を探し、決



巡回先での1シーン。Tスタンドを使って初めてのソフトボール

まっている範囲の時間割や学校行事を教えてもらい、実際に学校でソフトボールを紹介する日を決めます。

そして、私にとってはここからが勝負です。ソフトボール紹介が紹介のままで終わってしまうのか、紹介から巡回指導につながる事ができるのか。生徒が興味を持ってくれないと始まりません。最初の紹介からなるべく多くの人にソフトボールに挑戦してもらえようという目標で12、13個、ボール、バット2本、手作りベースなど持てるものはすべて持って各学校を訪問します。

ソロモンの人々は、日常生活からバットほどの長さの大きなブッシュナイフで草を刈ったり、大きな木になったマンゴーを落とすために石を投げます。そのため中高等学校の生徒も教えずともスローボールを打ち、ボールをだいたいのところに投げることはできます。

一方、クラブは生まれて初めて目にし、手にする生徒がほとんどです。ゆえに彼らは本来投げる側の手、つまり利き手にクラブをはめてみようとしていました。それでもボールへの恐怖心がないソロモンの生徒たちは、正しい使い方とは言えなくても、捕球することができます。

ソフトボール紹介は、授業後の14時ごろから始まります。日

本のように給食の時間があるわけではないのでお腹が空いてくると生徒は少しずつ減っていきまます。そのため毎回時間も人数も確定していませんので、生徒たちの状況を見ながらなるべく早めに簡易ルールのゲーム形式でルールや技術を教えました。そして、1人では対応できないことも一緒にソロモンゲームに参加した選手たちが巡回指導についてきて、生徒たちに教えてくれたのです。

大まかな動きやルールはソロモン人が教え、細かいルールや生徒たちの技術的な質問には私から答えるというスタイルで行いました。時には予定の時間に学校に行ってみると、朝からの断水のため今日は午前中で学校終わってしまいました。

悪気なく言われることも多々あり、「一本電話をくれたらいいのに……」と心の中では思いながら、小さなことにクヨクヨしていたらソロモンでの活動はやっていられませんか「また来るね」と3、4校を週一回1ヵ月

小学生の練習風景。ソロモンゲームに参加した子供たちが積極的に練習している様子。



小学生の練習風景。ソロモンゲームに参加した子供たちが積極的に練習している様子。



Information その歴史と競技普及

青年海外協力隊は1965年に発足。来年で創設50周年を迎える。JICAのソフトボールを通しての国際協力の歴史は長い。JICAボランティアのソフトボール隊員が初めて派遣されたのは1968年で、派遣国はエルサルバドルだった。以降、15カ国に54名のソフトボール隊員が派遣されている。70年より野球隊員の派遣がスタート。長年のソフトボール・野球の途上国での普及への貢献に対し、2013年4月国際野球連盟はJICAに特別表彰を授与した。

HP / <http://www.jica.go.jp/volunteer>



巡回の活動は現地新聞にたびたび大きく取り上げられた

ソロモン諸島 Solomon Islands
 首都: ホニアラ (ガダルカナル島)
 人口: 約53万人
 言語: 英語、ビシン語
 面積: 27万6,900km² (岩手県の約2倍)
 大小約100の島々からなる英連邦の一國で、4000もの集落が点在している。地理的にオーストラリアとの関係が深く、日本ともいろいろな面で友好を結んでいる。国民の大半が農業・漁業に従事しているが、近年は天然資源の開発で注目を浴びる。